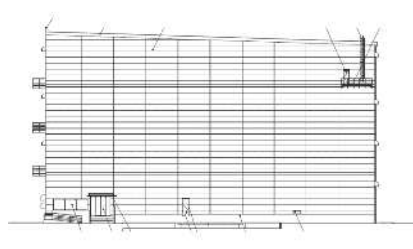


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	本藤沢用地活用計画	階数	地上4F
建設地	神奈川県藤沢市本藤沢四丁目195番8、4742番13の一部	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	1,377 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年11月1日
敷地面積	6,778 m ²	作成者	株式会社フジター級建築士事務所
建築面積	3,476 m ²	確認日	2022年11月22日
延床面積	13,767 m ²	確認者	株式会社フジター級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	対象外	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	BEIm = 0.39、LED照明設備を導入。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物に対して71%。物件は燃焼設備を使用していない。
Q2 サービス性能	階高: 3.9m以上。 [壁長さ比率] < 0.1。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)を用いている。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される